

日銀ネットにおける ISO20022 メッセージのバージョン改訂時の対応

- ISO20022 メッセージのバージョンが改訂される場合、ISO20022 メッセージを用いる日銀ネットの電文も、必要に応じてバージョン改訂に対応することとなります。日銀ネットにおける ISO20022 メッセージのバージョン改訂の対応を行う場合には、基本的に以下を想定しています。

対応 1 : 「必須項目」とは、Message Building Block (以下、MBB) の第 1 階層および第 2 階層の Message Item がいずれも設定必須¹とされている場合における、当該第 2 階層以下の Message Item 全体のことを指す。必須項目に該当しない第 2 階層以下の Message Item 全体については、「任意項目」として取扱う。

—— 第 1 階層および第 2 階層の Message Item がいずれも設定必須であれば、第 3 階層や第 4 階層の Message Item が設定任意であったとしても、当該第 2 階層以下を必須項目として取扱う。

【事例：必須項目と任意項目の区別について】

pacs.008

Index/Ref	MessageItem	Mult.	
1.0	GroupHeader	[1..1]	第1階層
...
1.33	InstructedAgent	[0..1]	第2階層
(6.1.0)	FinancialInstitutionIdentification	[0..1]	第3階層
(6.1.1)	BIC	[0..1]	第4階層
...
2.0	CreditTransferTransactionInformation	[1..*]	第1階層
...
2.51	DebtorAgent	[1..1]	第2階層
(6.1.0)	FinancialInstitutionIdentification	[0..1]	第3階層
(6.1.1)	BIC	[0..1]	第4階層
...

任意項目として取扱い

Message Item単位では任意

必須項目として取扱い

(※) 事例は対応を説明するためのものであり、実際のメッセージフォーマットとは異なる

¹ 事例中の Mult. (Multiplicity) は、ISO20022 メッセージ上の各 Message Item の出現回数を示す (左側の数字が最小出現回数、右側の数字が最大出現回数)。

[0..1] : 当該 Message Item の設定は任意。設定する場合、同一メッセージ内での設定は 1 回のみ。

[1..1] : 当該 Message Item の設定は必須。設定する場合、同一メッセージ内での設定は 1 回のみ。

[1..*] : 当該 Message Item の設定は必須。設定する場合、同一メッセージ内で任意の回数を繰り返して設定することができる。

対応 2 : ISO20022 メッセージにおける必須項目に変更、追加、削除が生じた場合には、当該 ISO20022 メッセージを用いる日銀ネットの電文について、当該必須項目を含む MBB 単位で、全ての Message Item のバージョンを変更する。

対応 3 : ISO20022 メッセージにおける任意項目に変更、追加、削除が生じた場合には、当該 ISO20022 メッセージを用いる日銀ネットの電文に反映するか否かは、利用先のニーズに応じて判断する。反映する場合には、当該任意項目を含む MBB 単位で、全ての Message Item のバージョンを変更する。

【事例：MBB 単位でのバージョン変更について（必須項目に変更が生じた場合の例）】

- ある MBB (CreditTransferTransactionInformation) において、必須項目に係る変更が生じた場合、以下に示すように、当該必須項目だけでなく、当該 MBB に属する全ての Message Item のバージョンを変更する。

pacs.008 (バージョン変更前)

Index/Ref	MessageItem	Mult.
2.0	CreditTransferTransactionInformation	[1..*]
...
2.51	DebtorAgent	[1..1]
(6.1.0)	FinancialInstitutionIdentification	[0..1]
(6.1.1)	BIC	[0..1]
...

必須項目



pacs.008 (バージョン変更後)

Index/Ref	MessageItem	Mult.
2.0	CreditTransferTransactionInformation	[1..*]
...
2.51	DebtorAgent	[1..1]
(2.1.0)	FinancialInstitutionIdentification	[0..1]
(2.1.1)	BICFI	[0..1]
...

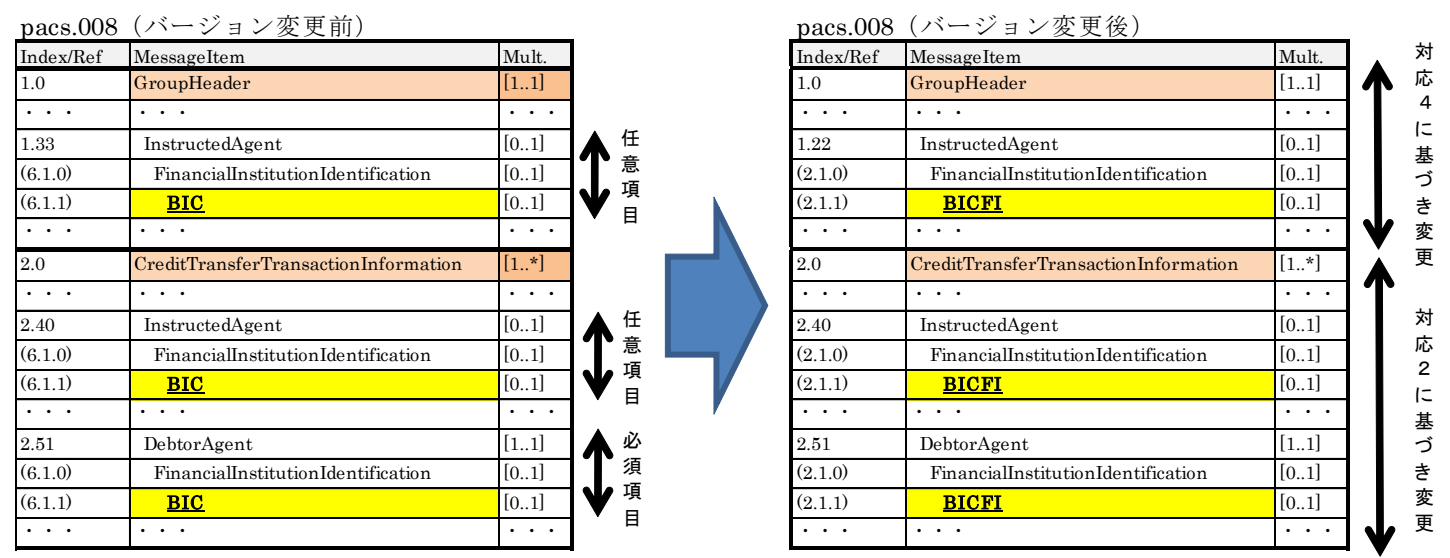
MBB 単位で変更

(※) 事例は対応を説明するためのものであり、実際のメッセージフォーマットとは異なる

対応 4：複数の MBB に共通する Message Item の変更、追加、削除については、当該 Message Item が、ある MBB では任意項目に属するものであったとしても、他の MBB では必須項目に属するものである場合には、当該必須項目の変更等による影響度等を考慮のうえ、当該任意項目に係る変更等の適否を判断する。仮に、当該任意項目に係る変更等を行う場合、当該任意項目を含む MBB 単位で、全ての Message Item のバージョンを変更する。

【事例：共通する Message Item が存在するケースの取扱いについて】

- 例えば、ある MBB (CreditTransferTransactionInformation) において、以下に示すように、必須項目の中の“BIC”が、“BICFI”に変更されたと仮定する。この場合、対応 2 に従い、MBB (CreditTransferTransactionInformation) の Message Item は、全て新しいバージョンに変更されるため、当該 MBB に属している任意項目の中の“BIC”も“BICFI”に変更される。
- ここで、他の MBB (GroupHeader) の任意項目に“BIC”が含まれると仮定する。仮に当該 MBB (GroupHeader) における“BIC”についてバージョン変更を行わないと、メッセージ pacs.008 内で、“BIC” (GroupHeader に属するもの) と“BICFI” (CreditTransferTransactionInformation に属するもの) が混在することになる。これを避けるため、当該 MBB (GroupHeader) における任意項目の中の“BIC”も“BICFI”に変更し、当該 MBB (GroupHeader) に属する全ての Message Item もバージョン変更する。



(※) 事例は対応を説明するためのものであり、実際のメッセージフォーマットとは異なる